

# 最後まで安心して暮らせる人生を 「支える」…ということ

高齢化が進む時代に望まれる医療について一緒に考えてみませんか？

## Ⅲ 講演とシンポジウム

### 「治す医療から、治し支える医療へ」

【講演者】国立長寿医療研究センター総長 **大島 伸一** 先生

- ▶日本の最先端の医療を牽引してきた大島伸一先生が、科学至上主義のこれまでの医療のあり方を振り返り、これからの高齢化社会における人間的な医療について講演します。

### 「最後まで安心して暮らせるまちづくりを目指して」

～[宮崎をホスピスに] プロジェクト 10年のあゆみ～

#### 【シンポジスト】

|        |                  |               |
|--------|------------------|---------------|
| 牛谷 義秀  | クリニックうしたに 院長     | (かかりつけ医の立場から) |
| 黒岩 ゆかり | 宮崎市郡医師会病院 内科医長   | (緩和ケア医の立場から)  |
| 藤木 啓   | 藤木病院 病院長         | (医療療養型病床の役割)  |
| 長内 さゆり | 古賀訪問看護ステーションあおぞら | (訪問看護師の立場から)  |

ご遺族の方

## 2012年2月25日(土)

13:30 開会

13:40～14:40 講演 「治す医療から、治し支える医療へ」  
国立長寿医療研究センター総長 大島 伸一

14:50～16:10 シンポジウム  
「最後まで安心して暮らせるまちづくり  
を目指して」

16:15 閉会

時 間 13:30～16:20

会 場 サンホテルフェニックス  
2階国際会議場

入場料 1,000円(全席自由)

[お申込み・お問い合わせ先]

ホームホスピス宮崎 事務局

〒880-0913 宮崎市恒久2丁目19-6

電話 0985-53-6056

申込み方法

※会場ホテル駐車場は混みあうことが予想されます。車でお越しの方は、シーガイア・コンベンションセンター前の駐車場をご利用ください。

 駐車場から会場までは、無料の送迎バスをご利用ください。

① ファックス(裏面に送信フォームがあります)

② 電話 0985-53-6056(月～金/10:00～16:00)

③ Eメール office@npo-hhm.jp

主 催 ■ 特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

連携団体 ■ 一般社団法人みやざき公共・協働研究会・一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会・ひとえ歯科クリニック

後 援 ■ 宮崎県医師会・宮崎市郡医師会・宮崎県薬剤師会・宮崎市郡薬剤師会・宮崎県看護協会・宮崎県歯科医師会

(順不同) 宮崎市郡東諸郡歯科医師会・宮崎県理学療法士会・宮崎県介護福祉士会・朝日新聞社・読売新聞社西部本社

毎日新聞社・宮崎日日新聞社・NHK宮崎放送局・MPT宮崎放送・UMKテレビ宮崎

～独立行政法人医療福祉機構・地域連携助成事業「高齢者が地域で普通に暮らすことを支援する事業」～



## 基調講演

# 「治す医療から、治し支える医療へ」

救命、延命、完全治癒というよりは、QOLを落とさないように時には病気と共存をしながら、社会復帰というよりは生活復帰を目指すことが主目標となることもよくあります。そして、その時が来たら納得のいける終末期を迎えられるように支えていく医療が求められます。すなわち「治す医療から、治し支える医療」への転換であり、それに向けて資源も制度も整理していかなければならないと思います。

(平成22年度第11回介護保険推進全国サミット in ひがしうら記録集より)



## 国立長寿医療研究センター総長 大島 伸一

**[プロフィール]** 1970年名古屋大学医学部卒業後、社会保険中京病院で腎移植を中心に泌尿器科医として臨床に従事。1992年から副院長として経営に参加。1997年名古屋大学医学部泌尿器科学講座教授。2002年名古屋大学医学部附属病院病院長。2004年3月国立長寿医療センター総長。2010年4月1日より独立行政法人化され、国立長寿医療研究センターの理事長・総長として現在に至る。  
所属学会：日本泌尿器内視鏡学会（名誉理事）、日本移植学会（名誉会員）、日本老年医学会（理事） その他多数  
社会活動：社団法人日本臓器移植ネットワーク（理事）、財団法人日本腎臓財団（理事） その他多数

## シンポジウム

### 「最後まで安心して暮らせるまちづくりを目指して」

**[コーディネーター]**

市原 美穂（ホームホスピス宮崎 理事長）

### **[シンポジストプロフィール]**

#### 牛谷 義秀 クリニックうしたに 理事長・院長

1985年防衛医科大学医学部卒業。同大学第1外科に入局、がん疾患患者の診断と外科手術、化学療法に従事する。1993年防衛庁を退職。その後5年間東京の救急指定病院に勤務しながら、多くのがん患者の終末期医療や緩和医療、在宅医療に関わる。1998年有床診療所として開業する。宮崎県介護支援専門員協会会長、宮崎ケアケアネットワーク代表世話人、宮崎市地域包括支援センター運営協議会会長、認知症サポート医。

#### 藤木 啓 藤木病院 病院長

1997年久留米大学医学部卒業。同大学外科学講座入局。2004年同大学院修了。久留米大学病院と久留米大学医療センターの肝胆脾外科にて肝癌に対するラジオ波焼灼術を担当。2009年4月より宮崎に帰郷し藤木病院に勤務。現在に至る。現在、療養病床の特性を生かした高齢者医療と緩和ケア、および地域連携ネットワーク作りに取り組んでいる。

#### 黒岩 ゆかり 宮崎市郡医師会病院 内科医長

1986年慶応義塾大学医学部卒業。1990年同大学院修了。病理学助手を経て1996年、国立東京第二病院にて内科系臨床を開始。1998年川崎市立井田病院に開設された、かわさき緩和ケアセンターの医長として、緩和ケア・総合医療・在宅医療に従事。2001年12月に宮崎市郡医師会病院に開設された緩和ケア病棟に病棟専従医として勤務し現在に至る。日本緩和医療学会の教育研修委員会委員として緩和ケア教育にも携わる。

#### 長内 さゆり 古賀訪問看護ステーションあおぞら 管理者

1980年北海道大学医学部附属看護学校卒業。同年4月より同大附属病院の内科に3年、外科に2年勤務。その後宮崎市に転居し1998年よりパーム訪問看護ステーション管理者、2001年より現職。2004年放送大学卒業、2006年宮崎県立看護大学看護学研究科修了（看護学修士）。2010年首都大学東京人間健康科学研究科修了。宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会理事、ELNEC-J指導者 など。

FAX : **0985-53-6054** E-mail : office@npo-hhm.jp

## 申込書

|    |   |     |             |
|----|---|-----|-------------|
| 氏名 |   | 職種等 |             |
| 電話 |   | FAX | 申込日<br>月 日  |
| 住所 | 〒 |     | チケット枚数<br>枚 |

**【事務局】** 特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

〒880-0913 宮崎市恒久2-19-6 ☎: 0985-53-6056 (月～金 / 10:00～16:00)

※チケットの購入引き替え券として、はがきをお送りしますので、お名前、ご住所、チケット枚数は必ずご記入ください。